

---

# 信子さん

ごはんライス

---

## 注意事項

このPDFファイルは小説サイト「小説家になろう」で掲載中の小説を、「PDF小説ネット」の変換システムが自動的にPDF化したものです。この小説の著作権は作者にあり、作者または「小説家になろう」および「PDF小説ネット」を運営するウメ研究所に無断でこのPDFファイルおよび小説を引用を超える範囲で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止します。小説の紹介や個人用途での印刷および個人用途での保存はご自由にどうぞ。

### 【小説名】

信子さん

### 【コード】

N1786E

### 【作者名】

ごほんライス

### 【あらすじ】

またわけのわからねえ話を書いてしまった。

「信子さん、カンベンしてくださいよ」

「いや許さん。何やこの口紅の跡は」

「シャツにくつきり跡がある。言い訳できねえ。」

「信子さん、カンベンしてくださいよ」

「いや許さん。何やこの口紅の跡は」

「ブリーフにもくつきり跡がある。言い訳できねえ。」

「ああ。言い訳できるわけがねえ。」

「誰なんや。ええ?」

「答えるわけにはいかねえ。答えたら、春子ちゃんが殺されてしま  
う。」

「おい。てめえ。答える。答えないと晩飯抜きだぞ」

「春子ちゃんです」

「信子の目つきが変わった。」

「ふん。春子か。そいつの住所を言え」

「こればかりは答えるわけにはいかねえ。答えたら本当に春子ち  
ゃんが殺されてしまう。」

「おい。てめえ。答える。答えないとビール出さねえぞ」

「墨田区四丁目・・・」

「信子はメモを取った。」

「あの、信子さん。晩ごはん」

「ふん。てめえは今日は晩飯抜きだ」

「そ、そんな。約束が」

「やかましい」

「信子はオレを持ち上げて壁にぶつけた。」

「うぎゃああああああああ」

「ふん。大げさな」

「オレは床にのたうち回った。血まみれだ。」

信子は包丁を包んで原付にまたがった。行き先はもちろん春子の住んでるアパートだ。

「ふんふんふんふん」

その頃、春子はシャワーを浴びていた。

春子は胸が小さい。しょうがないよ。まだ小学生だもの。

「おらああ。てめええええ」

急にドアが破れる音がした。

「なにごと！」

春子はバスタオルで胸を隠し、あわててドアへ向かった。

そこには包丁を握り締めた鬼、信子がいた。半壊したドアの隙間から強い風が吹く。

「てめえが春子か。よくもうちの亭主を」

「て、亭主？ ま、まさか先生の奥さん！」

春子はガタガタ震えた。まさか先生との不倫がバレってしまったというのか。

ひょ、ひょっとして100円ショップで買ったあの口紅のせいか。

「お、奥さん。落ち着いてください。落ち着いてください」

「ん。てめえ。まだ幼いな」

「は、はい。12です」

「うちの亭主とはどういう関係だ」

「は、はい。あたし、義彦先生のクラスで生き物係をやってます」

「ふうん。あいつ、教え子に手エ出しよったんか」

春子は、しめたと思った。そこをもっと強調すれば、あたしも被害者になり許してもらえるかも。

「そ、そうなんですよ。先生たらいやがるあたしをムリヤリ」

「ちきしょう。あいつ、あたしのは拒否しやがるくせに、こんな小

娘を見て興奮」

信子が興奮してきた。

「許さねえ！」  
信子が叫んだら、春子はビクツとした。  
バスタオルが落ちちゃった。

CM

出ました。出ました。新発売、もじゃもじゃ饅頭！ ただの饅頭と違うよ。饅頭からちぎれた毛がもじゃもじゃ生えてたったの百円。新発売記念価格です。今すぐお店へゴウ！

血まみれになった春子の死体が床に転がる。

「はあはあはあ。や、やってもうた」

信子は我に返った。自分は殺人をしてしまったのだ。

包丁が手からぼろりと落ちた。

「ど、どうしよう」

信子は気が動転して携帯で110番した。  
ぼるるるるるる。

ガチャ。

「はい。こちらポリスメン」

「あ、あの、その」

「何だ。いたずら電話か？」

「ラーメンと餃子、おねがいします」

「は？」

「ラーメンと餃子、おねがいします！」

「何言ってるんだ」

警察は、うちはラーメン屋じゃねえよとか言うのだが、信子は気が動転して逆ギレ気味だ。

「いいかげんにしなさいよ！ ラーメンと餃子早く持ってきてちょうだい！」

「だーかーらー。うちはラーメン屋じゃねえ。警察だ！」

信子は携帯を床に叩きつけた。こんなバカなことしてる場合じゃ

信子さん





巨大な餃子である。

CM

新発売！ ぷりっぷりで、ひだひだがたまらなくジューシーなもじやもじや餃子。今なら毒入りで特別販売！ 中国政府も黙認。福田康夫首相もいっさい抗議しません。北京オリンピッククイメージ商品です。

「ねえん。先生えん」

「は、春ちゃん。いかんよこんなところで」

「あ。大きくなってる」

「あ、こら、いかん、ああ」

あわててCM

フリーチベット！ 北京オリンピック開催期間、チベットの山奥で裏オリンピック開催します。ドライ・ラマーシャツも販売する予定だよ。みんな来てね！ でも、中国の公安当局に射殺される可能性大。

来てね！

おしまい

(了)

(後書き)

餃子のCMを挿入するアイデアは近藤義一先生のコメントを参考にしました。でも、中国への悪口はライスによるものです。

信子さん

信子さん

PDF小説ネット発足にあたって  
インターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

# 広告募集中

小説関連広告に最適です。  
出版社や印刷会社はもちろん、  
個人の広告でもOK

縦：140mm 横：110mm

詳しくはPDF小説ネット広告募集をご覧ください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1786e/>

---

信子さん

2009年3月24日09時28分発行